

CNAレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 13 No.17 2011年9月15日号

編集:editor@cna.jp 広告:pr@cna.jp 読者登録:<http://cna.jp>

Copyright 2011 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

ラドビジョンジャパン、SCOPIA XT 1000 シリーズのエントリー製品発売



SCOPIA XT 1000 Piccolo: XT1000シリーズの本体デザインを踏襲（ラドビジョン ジャパン資料）

ラドビジョンジャパン株式会社（東京都台東区）は、HD 対応ビデオ会議システムの新製品「SCOPIA XT 1000 Piccolo（ピッコロ）」を発表。（8月23日）

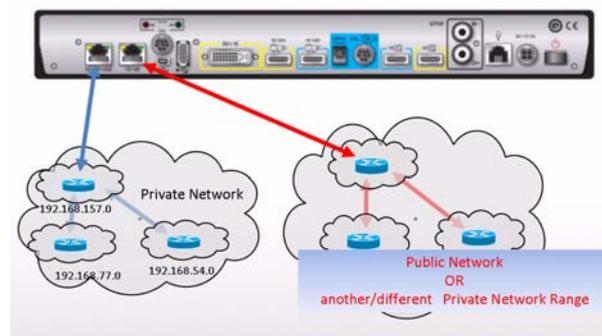
SCOPIA XT 1000 Piccolo は、製品としては、セットトップ型のハイエンドモデル「SCOPIA XT 1000/1200」のエントリー製品として、また、価格的には、SCOPIA XT 1000 と、デスクトップシステム「VC 240」との中間に位置づけられる。

「SCOPIA XT 1000 Piccolo は、ビジネスミーティングに十分な 720p/30fps に対応し、必要な機能と性能に絞って低コストで導入可能な HD 機だ。ラドビジョンの端末製品としては、テレプレゼンスからセットトップ、そしてデスクトップやモバイルビデオ会議までの製品ラインナップを総仕上げする製品となる。」（ラドビジョン）

SCOPIA XT 1000 Piccolo の通信プロトコルは、SIP/H.323、また ISDN については、「SCOPIA Gateway」経由にて対応。音声プロトコルは、G.728、G.729A Audio (48kHz フルバンド) に対応。資料共有は、デュアルストリーム (720p/30fps) で通信を行う。

多地点環境において、SCOPIA XT 1000 Piccolo は、HD 対応 MCU「SCOPIA Elite」や 9ヶ所までの接続に対応した内蔵 MCU を搭載する XT1000 シリーズと組み合わせて使用する。XT 1000/1200 のように 1080p や内蔵 MCU には対応していないためだ。

LAN ポートを 2 つ搭載 (XT 1000 シリーズ オプション)。「一方は、社内イントラネットに接続し、もう一方は、公衆インターネットに接続させることで混在環境でのセキュアなビデオ会議にも対応している。」（ラドビジョン）



XT 1000 シリーズ LAN & GLAN 設定 (オプション) (ラドビジョンジャパン資料)

SCOPIA XT 1000 Piccolo 用の HD カメラは、光学 5 倍広角 74 度対応の PTZ カメラ。また同梱の 3 方向マイク・ボットは、背景ノイズを排除し発言者に焦点できる最先端技術「ビームフォーミング技術」を搭載している。

端末操作用のリモコンとしては、アップル社の「iPad」に対応する。専用のアプリを iPad にダウンロードすれば iPad か

ら Piccolo を含めた SCOPIA XT 1000 シリーズの製品をリモコン制御できる。

その他、今回 Piccolo の発売にあわせて、SCOPIA XT 1000 シリーズ全機種において、デジタルに加えアナログオーディオにも対応した。



アナログオーディオにも対応（ラドビジョンジャパン資料）

「SCOPIA XT 1000 Piccolo は、ラドビジョントータルソリューションにシームレスに統合できる。また、従来のシステムよりもコストパフォーマンスが高く経済的に導入が可能なシステム。短期間で投資の回収が可能であるとともに、企業内のコミュニケーションをさらに活性化させることができる。」（ラドビジョンジャパン）

アドビ システムズ、Adobe Connect の新しい導入形態でシングルテナント運用が可能な Adobe Connect Managed Services を発表

アドビ システムズ株式会社（東京都品川区）は、「Adobe Connect(アドビコネクト)」の新しい導入形態として「Adobe Connect Managed Services」が同社の販売パートナーから提供開始されると発表した。（8月4日）

Adobe Connect は、Adobe Flash 技術を基盤とした Web 会議や e ラーニングを提供するソリューション。インターネット環境と Adobe Flash Player がインストールされている PC やモバイル機器であれば簡単に導入することができる。

これまでホスティング（アドビが管理するホスティングサーバを利用）とオンプレミス（ユーザの組織にサーバを導入して運用）による導入形態を提供してきたが、今回新たにシングルテナント運用ができる Adobe Connect Managed Services を開始する。

Adobe Connect Managed Services は、東京を含む世界中で提供されている「Amazon Web Services」の「Amazon Elastic Compute Cloud(EC2)」を活用。拡張性、高い柔軟性、カスタマイズ性、セキュリティに特長があるという。

Adobe Connect Managed Services の日本市場向けの提供ならびに技術サポートは、アドビ システムズの販売代理店である株式会社サムライズによって行われる。

サムライズ、アドビ社 Web 会議の新しい導入形態を提供開始

株式会社サムライズ（東京都中央区）は、米アドビシステムズ社の「Adobe Connect Managed Service」の提供を9月1日より開始すると発表。（8月4日）

これまでアドビシステムズ社の Web 会議システムを提供してきたサムライズでは、ホスティングとオンプレミスに加え、今回新たに Adobe Connect Managed Service を提供する。

ホスティングは、アドビ社が管理するホスティングサーバを利用するもので、オンプレミスについては、ユーザの組織にサーバを導入して運用する。一方、Adobe Connect Managed Service については、シングルテナント運用に対応しており、アマゾン社の「Amazon Web Services」の「Amazon Elastic Compute Cloud(EC2)」を活用して提供する。

参考価格:Meeting モジュールは、487,500 円(税抜)/年～となっている。

同社の担当部署は、アドビ・ソフトウェア事業部。

ニューロネット、SaasBoard バージョン 4 をリリース、操作性と接続性を一新

ニューロネット株式会社（東京都渋谷区）は、「SaasBoard バージョン 4」を8月4日よりリリースした。（8月4日）

SaaSBoard（サーズボード）は、SaaS・ASP で提供する Web コラボレーション/Web 会議/テレビ会議。これまで提供してきた SaasBoard バージョン 3 と比べ、バージョン 4 では操作性と接続性を一新した。

主な変更点は以下の通り。(1)映像画面だけでなく Web ボード操作中や画面共有操作中も参加者映像を同時表示。(2)主機能選択について「タブ切り替え方式」から「ボタン選択方式」へ変更。(3)Web ボードや画面共有プレゼンターの操作開始に同期し、全参加者画面が自動で切り替えられるようになった。(4)画面共有において、「部分共有」、「範囲指定共有」、「全画面共有」を自由に操作可能。(5)リモートデスクトップ時に、操作者側でも共有範囲操作可能になった。(6)画面共有/リモートデスクトップ操作部を参加メンバー表示部に集中化。(7)接続ポートの多様化と自動接続最適化および手動選択再接続が可能になった。

「Web 会議、Web コラボレーションは自分だけでなく、参加者という複数の相手がある中で操作をしなければならない。操作がもたついているのは参加者全体へ影響するし、会議のパフォーマンスも低下する。今回リリースする SaasBoard バージョン 4 では、『極力操作をしない Web 会議』を目指した。今回の改定で快適な操作感と高パフォーマンスの会議を感じて頂けると思っている。」(ニューロネット)

なお、ニューロネットによると、先の大震災に伴う節電や危機管理(BCP)で在宅勤務やテレワークを本格的に検討し始めた企業から SaasBoard への問い合わせが増えているという。

VTV ジャパン、テレビ会議端末の比較体験ができるデモンストレーションの受付を開始

VTV ジャパン株式会社(東京都千代田区)は、テレビ会議システムの導入検討中の企業向けに、比較デモンストレーションの受付を8月4日より開始した。(8月4日)

比較デモンストレーションでは、要望の多い「Polycom HDX シリーズ」、「SONY PCS-XG シリーズ」、「RADVISION XT 1000 シリーズ」の3つのメーカーのテレビ会議端末をデモルームに常時設置。映像・音声および操作感を比較出来る環境を整えた。同機種同士の対向での接続、及び異機種同士の接続、MCU デモも可能。上記製品以外での比較を希望の場合は別途問い合わせ要。



「POLYCOM HDX8000」、「SONY PCS-XG80」、「RADVISION SCOPIA XT1000」(VTV ジャパン資料)

VTV ジャパンによると、昨今のテレビ会議端末の高解像度化に伴い、顧客より HD 機の比較デモの依頼を受けるケースが増えてきたという。一般的には各々のメーカーの代理店にデモを依頼するため、異なったメーカーの製品を同じ環境でかつ一度に比較検討できる場はあまりなかったためだ。

「今後もユーザ目線に立ち、本当のニーズに合ったテレビ会議製品の紹介を心がけていきたい。」(VTV ジャパン)

デモンストレーションは予約制で同社 Web サイトより受付している。場所は、同社東京本社デモルーム。

製品・サービス動向-海外

8x8 社、Polycom UC Intelligent Core を基盤としたクラウド型ビデオ会議サービスを開始

米 8x8 社(エイト バイト エイト)は、クラウド型のビデオ会議サービス「Virtual Room」を開始すると発表。(7月19日)

Virtual Room サービスでは、8x8 社の SIP サービスプラットフォームとポリコム社の「UC Intelligent Core ソフトウェアプラットフォーム」を統合し、ユニファイドコミュニケーションをサービスとして提供する。

8x8 社にとっては、SMB(中小企業)向けとして、VoIP、ビデオ、コンタクトセンター、ホスティングの4つのサービスを提供しているが Virtual Room はそのひとつになる。

Virtual Room サービスは、音声、ビデオ、コンテンツによる会議が行えるプライベートの会議室が契約者毎に割り当てられる。電話とビデオ会議混在の会議の他、多地点会議も可能だ。基本的には同時接続は15人まで、加えて多画面分割(CP)にも対応している。

アクセスできる端末は、Web カメラを搭載した PC の他(ソフトウェアのダウンロードは不要)、ポリコム社の「Polycom

VVX]、「Polycom HDX」、そして電話機となっている。会議室へのアクセスは、10桁の数字番号もしくはメール本文に表示されている招待のリンクをクリックすることで会議室に入室できる。

ビデオ会議の解像度はサービス料金(3プランあり)に応じてCIF、4CIF、HD 720p/1080pを選択可能。会議室利用にあたっての月額199ドルから。

サポートは、8x8社が24時間 x 7日 x 365日で提供する。

ビジネス動向-海外

ポリコム社、HP社のビジュアルコラボレーション事業部門買収完了、両社でエンドツーエンドのUCソリューションを提供

米ポリコム社は、HPビジュアルコラボレーション事業の買収手続きを完了したと発表。(北米7月27日、日本8月8日)

今回の買収手続き完了によって、ポリコム社は、HPのテレプレゼンスと特定のUCソリューションについて、再販および社内展開を含むHP社の独占的パートナーとなることに合意した。これにより、両社は、モバイル向けビデオアプリケーションやUCソフトウェア、会議室用テレプレゼンス、イマーシブテレプレゼンスソリューションまでのエンドツーエンドUCソリューションを市場に提供することになる。

具体的には、ポリコム社は、「HP Halo」や「Halo Video Exchange Network(HVEN)」のサービスやサポートをHP社から引き継ぐとともに、UCシステム間での相互運用性を提供するとともに、ポリコム社のビデオアプリケーションをHPのWebOSプラットフォーム向けに提供する。

一方、HP社側では、ポリコム社の各種UCソリューションの再販とカスタマイズサービスを提供する。

なお、今回の買収に伴う特定の国における資産の譲渡については、各国の法的要件の完了によって異なる。

ラドビジョンのSCOPIA Elite 5000 MCU、アメリカ国防総省の統合機能認定製品リスト(UC APL)に認定

ラドビジョン社の発表によると、同社のH.264/SVC 1080p

対応「SCOPIA Elite 5000 MCU」がアメリカ国防総省(DoD)の「統合機能認定製品リスト(UC APL)」に認定された。(7月26日)

UC APLは、アメリカ国防省のJITC(Joint Interoperability Test Command)が実施する情報セキュリティと相互接続の試験に合格し認定を受けた製品に与えられるもの。認定を受けた製品は、国防総省のネットワーク内の設置と運用に関する基準を満たすと認められる。

同社のプレスリリースによると、今後米連邦政府内でのビデオ会議の需要は増えると見ている。そういった意味では、今後連邦政府関連の需要に対応する上で、今回のUC APL取得はラドビジョン社や同社の販売パートナーにとって重要な意味を持つ。

ポリコム社、グローバルセールス担当エグゼクティブ バイス プレジデントに Tracy Newell 氏を任命、UC事業拡大の一環

米ポリコム社は、新しい人事を発表。(7月21日)

Tracy Newell氏を、グローバルセールス担当エグゼクティブ バイス プレジデントに任命した。同氏が着任したポジションは、ポリコムのグローバルでの営業活動の責任者として、ユニファイドコミュニケーション市場における同社の成長を加速させる役割を持つ。

ポリコム社入社前は、Juniper Networks社でワールドワイドゼネラルビジネスセールス担当シニアバイスプレジデントとしてエンタープライズ市場および中堅市場のシェア拡大の責任者を務めている。またJuniper社に入社する前は、シスコシステムズ社でWebExのグローバルセールスの責任者。

なお、Juniper社は、ポリコムのPOCNパートナーであり、Newell氏の入社により両社の戦略的な提携関係がさらに強まるという。

Newell氏は、ポリコム社CEO Andy Miller氏の直属として、ポリコムの全地域(南北アメリカ、アジア太平洋、ヨーロッパ・中東・アフリカ)を統括する。

投資会社 GMT 社、英 Web 会議 MeetingZone 社を 3,850 万英ポンドで買収

ヨーロッパを拠点にしている非公開投資会社 GMT Communications Partners 社は、Web 会議サービスを提供する英 MeetingZone 社の買収を発表した。買収額は、3,850 万英ポンド。

MeetingZone 社は、2002 年に Tim Duffy 氏と Steve Gandy 氏によって設立。本社は、イギリスのオックスフォード。“E ビジネス セルフサービス”のサービスコンセプトをベースに、フルオートメーションとカスタマイズ、品質の高いサービスに特長がある。

過去 3 年での CAGR(年平均成長率)は、20%増を記録。2011 年 3 月締め年間決算では、1100 万英ポンドの売上を計上。2012 年 3 月期には前年よりも 20%の売上増を見込む。イギリスを中心に、北米とドイツで事業展開をしている。

MeetingZone 社の株主は、創立者の Tim Duffy 氏と Steve Gandy 氏、投資会社 Nova Capital Management 社やその他の投資者。Tim Duffy 氏と Steve Gandy 氏の持ち分としては全てを売却せずに、GMT Communications Partners 社下においても、MeetingZone 社に籍を置く。Steve Gandy 氏は CEO、Tim Duffy 氏は非常勤(non-executive)の会長職に留まる。

決算発表-海外

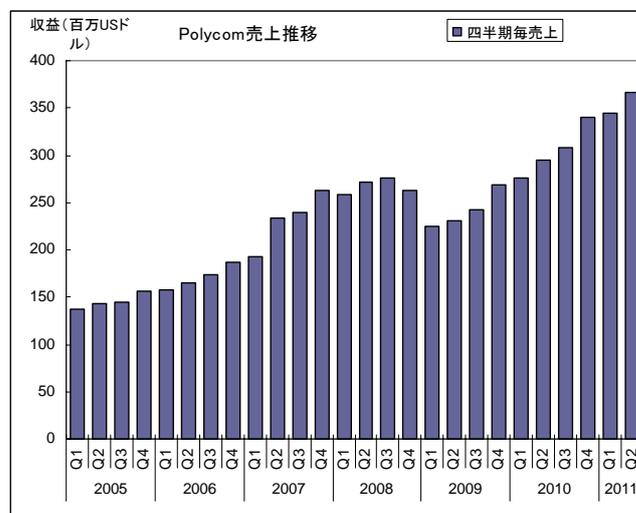
2011 年第 2 四半期 (2011 年 4 月 ~ 7 月期)

* NASDAQ 等上場企業のみ。

米ポリコム社

ポリコム社は第 2 四半期の決算発表を行った。それによると売上は、前年同期の 2 億 9500 万ドルに対して、過去最高の 3 億 6600 万ドルとなった。また第 1 四半期と 2 四半期を合わせた上期の売上額は、前年同期の 5 億 7100 万ドルに対して 7 億 1000 万ドルとなった。加えて、8500 万ドルの営業キャッシュフローを生み出した結果、現金と投資残高は、6 億 900 万ドル。負債ゼロ。

第 2 四半期の地域別の売上構成は、南北アメリカが 52%、EMEA 地域が 24%、アジア太平洋地域が 24%。



Wainhouse Research 社 (<http://www.wainhouse.com>) のビデオ会議調査レポート「Wainhouse Spotcheck : Videoconferencing Q1 2011」(ポリコム社 7 月 27 日プレスリリースにて引用)によると、ポリコム社は、前四半期に比べ 9 ポイント拡大、2011 年第 1 四半期のビデオ会議システムの出荷台数における市場シェアは、45%に拡大しているという。一方、ビデオ会議インフラストラクチャ市場が前年比で 24%成長している中、「UC Intelligent Core」プラットフォームを提供するポリコム社の関連売上も連続で 3 ポイント増加していると報告している。

第 2 四半期では、HP 社のビジュアルコラボレーション事業部門買収、「Lync」と「Polycom CX7000」とのネイティブ統合などマイクロソフトとの戦略的提携拡大、通信事業者との OVCC などの動きがあった。

さらに販売においては、Brics などの新興市場における高い需要、米国政府関連市場の勢い増加、主要地域の各製品カテゴリーでの最高の収益の計上などが同社の売上を支えた。

その他、グローバルセールス強化の一環として、グローバルセールス担当エグゼクティブ バイス プレジデントとして Tracy Newell 氏を新たに迎え入れた。

セミナー・展示会情報

<国内>

UC サミット 2011

日時:9月15日(木)

9:30~16:30 (9:10より受付開始)

会場:秋葉原コンベンションホール(ダイビル2階)

主催:株式会社リックテレコム コンベンション企画部内

UC サミット 2011 運営事務局

詳細・申込:<http://www.ric.co.jp/expo/ucs2011/>

テレワークの推進に関する国土交通省の取組

ネットセミナー SaasBoard4.0 を体験しながら参加できる

『クラウド+テレワーク(在宅勤務)=ワークスタイル改革』

日時:9月16日(金)14:30~16:30

会場:オンラインセミナー

主催:ニューロネット株式会社

詳細・申込:http://www.neuronet.co.jp/eventSeminar.html#seminar_a

Web 会議・Web コラボレーション SaasBoard

無料セミナー SaasBoard4.0 リリース体験会

SaaSBoard4.0 を体験しながら参加できる

『被災地域の雇用支援とテレワーク』

日時:9月29日(木)13:00~15:00

会場:オンラインセミナー

主催:ニューロネット株式会社

詳細・申込:http://www.neuronet.co.jp/eventSeminar.html#seminar_b

会議の効率化を実現! 『ConforMeeting 無料体験セミナー』

日程:10月5日(水)、12日(水)、19日(水)、26日(水)

※全ての日程で13:30~14:30、15:30~16:30の2回開催

会場:NEC 情報システムズ 本社(東京都港区)

主催:日本電気株式会社、株式会社 NEC 情報システムズ

詳細・申込:

<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformeeeting/seminar.html>

ITpro EXPO 2011

日時:10月12日(水)~10月14日(金) 10:00~17:30

会場:東京ビックサイト

主催:日経 BP 社

後援:総務省、経済産業省、アメリカ合衆国大使館 商務部(予定)

協力:日本経済新聞社、テレビ東京

詳細・申込:<http://itpro.nikkeibp.co.jp/expo/index.html>

*遠隔会議系は、「ビジュアル・コミュニケーション 2011」か、

「クラウドコンピューティング 2011」のどちらかで出展。

『VTV ジャパン ビジュアルコミュニケーション

フォーラム』東京・大阪 2元中継 同時開催

日時:10月21日(金) 【展示】11:00~18:30(各社製品)

【セミナー】13:30~17:30 (開場 13:00~)

会場:東京:TEPIA、大阪:大阪マーチャングッズ・マート

主催:VTV ジャパン株式会社

協賛:株式会社インターネットイニシアティブ

詳細・申込:<http://www.vtv.co.jp/seminar/1110vtv/index.html>

*セミナー基調講演は、日本大学 教授 児玉 充 氏。

<海外>

7th Annual Real-Time Communications Conference and Expo

日時:10月4日-6日 8:00-17:00

会場:米国イリノイ州 Illinois Institute of Technology

主催:Illinois Institute of Technology

詳細・申込:

<http://www.cvent.com/events/7th-annual-real-time-communications-conference-and-expo/event-summary-ffc3acffa5af4bddae7a33f788e37f56.aspx>

WR CSP Summit - North America 2011

Driving Growth of Collaboration Services in an Emerging Unified Communications Environment

日時:10月11日

会場:米国マサチューセッツ州ボストン

主催:Wainhouse Research, LLC

詳細・申込:<http://www.wainhouse.com/event-calendar.php?sec=93>

VCI-Group Second Annual Conference

日時:10月10日-12日

会場:米国ルイジアナ州ニューオーリンズ Sheraton New Orleans Hotel

主催:VCI-Group

詳細・申込:<http://www.vci-group.org/Events/Conference.aspx>

Twitter、Facebook、dte-forum

ツイッターとフェイスブック、dte-forum を通じて遠隔会議関係のニュースなど関連情報を配信しています。よろしければご覧ください。

Twitter

日本語版:<https://twitter.com/cnarjapan>

英語版:<https://twitter.com/cnarjp>

Facebook

「テレビ会議・Web 会議・電話会議 & ユニファイドコミュニケーション研究会」<http://www.facebook.com/unifiedcom>

dte-forum メーリングリスト

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

編集後記

今号もお読みいただきましてありがとうございました。

本日はリックテレコム主催の UC サミット 2011 参加のため勝手ながらいつもよりは早く発行させていただきます。

次号もよろしくお願ひ致します。

CNAレポート・ジャパン 橋本 啓介